

<b>令和2年度 指定管理者施設管理評価シート</b>		<b>部課名</b>	福祉部高齢福祉課	
<b>施設名称</b>	20 東京都台東区立まつがや高齢者在宅サービスセンター	<b>指定管理者</b>	社会福祉法人東京援護協会	
<b>選定方法</b>	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	<b>指定期間</b>	R2.4.1	～ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区松が谷4-4-3 [規模] 延床面積 4,671.32㎡のうち1,297.01㎡ SRC造一部RC造 地上8階地下2階のうち2階の一部
(3)	[委託事業] ①通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等） ②介護予防通所介護（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）（定員35名） [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（年始1月1日～3日を除く）午前8時30分～午後5時15分
(6)	[人員体制] 23名 （内 訳）事務員（1）、相談員（1）、介護職員（常勤5、非常勤6）、看護職員（常勤1、非常勤1）、運転手他（非常勤8） （前年増減）常勤介護職員1名増

2. 予算決算		H30予算	H30決算	R1予算	R1決算
収入	委託料（指定管理料）	11,969,000	11,969,000	12,042,200	12,035,300
	利用料金収入	84,423,000	87,681,039	86,428,000	94,616,996
	その他収入（退職給付引当資産取崩収入等）	1,000	362	800	1,216,523
	計	96,393,000	99,650,401	98,471,000	107,868,819
支出	人件費	66,427,000	67,090,854	67,344,000	75,596,801
	光熱水費	3,325,000	3,281,370	3,257,000	2,997,483
	維持管理費（委託料・賃借料）	13,668,000	13,616,712	13,695,000	13,092,826
	修繕費	250,000	380,553	436,000	847,210
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（人件費積立資産支出等）	12,723,000	12,226,064	13,739,000	61,227,657
計	96,393,000	96,595,553	98,471,000	153,761,977	
収支			3,054,848		-45,893,158

3. 活動指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
開館日数	日	311	310	309	310
定員	人	35	35	35	35

4. 成果指標	単位	(目標値)R3年度	H29年度	H30年度	R1年度
利用率	%	92.8	88.4	90.7	92.8
利用者数	人	10,100	9,591	9,814	10,072

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況	
—	

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設の運営にあたっては法令等を遵守し、区と密に連絡をとっている。また、防災委員会で災害マニュアルを更新するなど、防災に対する意識も高い。全般的に適切な施設管理が行われている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	既存利用者の紹介により、新規利用者の増につながったため、施設利用率・利用人数とも昨年度実績を上回った。介護保険法に定めた配置基準を大幅に上回る人員や有資格者を配置し、概ね良好な事業運営がなされている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	送迎車の安全な出入りのための植木剪定や、車止めによる利用者の転倒防止のためのコーンを設置した。また、日々の消毒に加え、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、施設環境を整えた。設備の定期点検を実施し、適切な施設維持管理を行っている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	毎日の食事に関するアンケート、利用者懇談会などを実施し、利用者ニーズの把握に努め、結果をサービスに反映している。30年度に続き利用率は上昇しており、また、満足度は30年度より3ポイント上昇して91.0%となった。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	当初予算より人件費が増えているので、より経費を意識した運営を行う必要がある。マイナス収支ではあるが、人件費積立によるものであり、全体的には適正な収支状況である。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
5 点	炭酸泉による足湯を継続的に実施することで、安眠・頻尿改善等に効果が出ている。また、利用者懇談会の開催方法の工夫により、多くの利用者からの意見把握に努めることで、満足度向上につながり、新規利用者が増加した。

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
極めて良好 (103 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>自主的な取組みである足湯が好評を得ており、既存利用者の紹介による新規利用者獲得により、利用率が向上した。介護保険法に定めた配置基準を大幅に上回る人員や有資格者を配置し、全体として良好な事業運営がなされている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>人件費増要因が、職員昇給と人員不足による派遣職員の長期雇用のため、今後は職員の退職や採用の計画を見直すなど、収支改善に向けて、より経費を意識した運営を行う必要がある。</p>